

2018年度Ⅰ期もいよいよ終わりに近づきました。今回は学期末の学修活動についてお伝えします。

インターンシップに向けての学内研修

現ビズ3年生は、8～9月にかけて、さまざまな企業で1～2週間の「短期インターンシップ」を行います。研修先は、市役所、加古川総合保健センターなどの公的機関、地域金融機関、OA機器販売会社、自動車販売会社など学生の関心に合わせてさまざまです。地域ビジネス専攻必修科目ですが、グローバルビジネス専攻、公共政策専攻の学生の多くが履修し、就業体験に臨みます。7月10日(火)の授業では、事前研修として、「ビジネスマナー」の講義があり、スーツ姿の学生諸君は、先生から身だしなみ、挨拶の仕方、姿勢など、大変厳しい指導を受けました。インターンシップまではまだしばらく時間がありますが、学生諸君のブラッシュアップを期待しています。

なお、インターンシップの内容や学生の学びについては、次号以降の現ビズニュースレターなどでもお伝えします。



授業紹介① 共通教育科目「英語」

兵庫大学では、全学共通の共通教育科目の中で、1年次Ⅰ期に必修科目「英語」を開講しています。現ビズのクラスでは、「社会、文化、人間関係」をテーマに、英語コミュニケーションの真髄である「できる・できない」にかかわらず、「英語で発信すること」の大切さを理解し、その基礎を身につけることを目的として学んでいます。そのために、ペア・グループ活動を通じて、英語で聞き、話すことに特に重点を置いて授業を行っています。具体的には、海外旅行を想定して、機内やホテル、観光名所などで使われる語彙・表現を学んだり、買い物やレストランで使われる語彙・表現を実践的に学びます。

7月10日(火)の授業では、加古川バプテスト協会に来られた Mission Trip to Japan (MTJ) の皆様と交流の機会をもちました。MTJの皆様をお迎えするのは今年で3回目になります。今回は、自己紹介ののち、(1) Bingo Game (趣味やタレント当てクイズ形式で学生がMTJメンバーに質問しました)、(2) MTJメンバーによるアメリカンフットボールの紹介、(3) アメリカの絵本をラップのリズムで音読に挑戦、(4) MTJメンバーによるマジックショーとプログラムも盛りだくさんでした。グループ別での自由会話にも、みな楽しく参加でき、良い交流会となりました。

ラップで音読に
挑戦中♪



授業紹介② 「専攻演習Ⅱ」

3年生になると、卒業研究を見据えたゼミがはじまります。現ビズでは、経済学の理論と実際、経営学とビジネス戦略、地域活性化、異文化コミュニケーションなど、さまざまなテーマのゼミが開講されています。

澤山ゼミは、グローバルビジネスをテーマとしていますが、ゼミ活動の一環として、2018年7月24日(火)に一般社団法人大阪日独協会を訪問し、事務局長の和田展子常務理事にインタビューを行いました。目的は、経験豊富な社会人との対話を通じて、世界観を新たにし、さらに学生の将来進路へのヒントを得ることです。

ドイツをはじめ、世界90か国以上を旅した経験豊富な和田様から同協会とドイツ連邦共和国との交流事業や、ドイツを中心としたヨーロッパの情勢、ドイツ文化と日本文化の根本的な違いなどについて貴重なお話をうかがいました。さらに、「どうすれば英会話が上達できるか」「進路選択へのヒント」など日ごろ関心のある問題にも話題が広がっていきました。

進路選択を控えた学生に良いアドバイスをいただくとともに、改めて海外への興味を深めると同時に、日本のすばらしさについても考える機会になりました。



授業紹介③ 「ボランティア体験A」



2018年7月21日(土)、稲美町立いなみ野水辺の里公園で行われた「そうめん流しとワイワイ夏祭り！」に14名の学生がボランティアとして参加しました。いなみ野水辺の里公園との連携協力2年目の取り組みであり、今回もチームを組んで企画策定とその準備を重ねながら、夏祭り当日を迎えました。本番当日になって判明した事柄も、チームの垣根を越えて協議し行動するなどの迅速な連携プレーもみられました。また、参加した子どもたちの喜ぶ姿を見て、自分たちで企画し実践できたことに達成感をもった学生の様子もうかがえました。

水辺の里公園の関係者の皆様には、実践の学びの場を提供していただき、また温かく見守ってくださり、心より感謝申し上げます。現代ビジネス学部は、今後一層地域に貢献できる人材を育て、活動の場が広がるように取り組んでまいりたいと思います。

